産業情報
# いわて
Industry Information Iwate
2021.6.7
VOL. 211
［公財］いわて産業振興センター広報誌

特集／キラリ輝く★いわての企業

## 株式会社理工電気

組立、部品加工、機械製作…

相乗効果で販路開拓に挑む

各部事業紹介／6・7
アイリスオーヤマ㈱様との取引を目指す／8
県内食品加工企業募集のお知らせ
「人材育成研修事業」のご案内／8

特集／キラリ輝く★いわての企業

最新の機械を積極的に導入し、技術力を高めている

図面をもとに、ワイヤーカット加工機で部品を製造

# 組立、部品加工、機械製作…相乗効果で販路開拓に挑む

## 大船渡市／株式会社理工電気

### 電子部品の組立からスタート

大船渡市の理工電気は、先代の故・崎山節郎さんによって電子部品の組立企業として昭和51年に設立された。当時は大手の電気メーカーなどの東北進出が相次ぎ、いわて産業振興センター（当時は岩手県中小企業振興公社）の仲介で事業をスタート。最盛期には20台のベルトコンベアが並ぶ工場で、協力会社とあわせて450人もの女性の工員が作業していた。

「私がUターンした平成2年にも、250人くらいが働いていましたね」と回顧するのは2代目の崎山淳史社長。女性たちのほとんどは大船渡市内や近郊の住民で、現在も社員のほとんどは地元住民だ。その点で、昔も今も地元の雇用に大きく貢献している企業といえる。

### 蓄積した技術で、新事業へ

事業は順調だったが、時々、組立に使う機械や設備が故障して困った。修理業者のいる都市部から大船渡までは車で2時間半もかかるので、すぐに修理してもらえなかったからだ。仕方なく自分たちで修理するうちに、機械や治具の製作、部品の加工といった技術が蓄積され始める。

同じ頃、メーカーの製造拠点の海外移転が加速。従来の単純な組立の注文が減少する一方、治具の製作も含めた組立の注文が入るようになった。そこで平成7年にエンジニアグループを組織化し、部品加工や社内向けに製作した設備機械・治具の外販に本格的に取り組み始めた。これが現在の基盤となっている。

同社の従業員の約6割が女性で、組立ラインはほぼ女性が担う

### 震災が事業転換のきっかけに

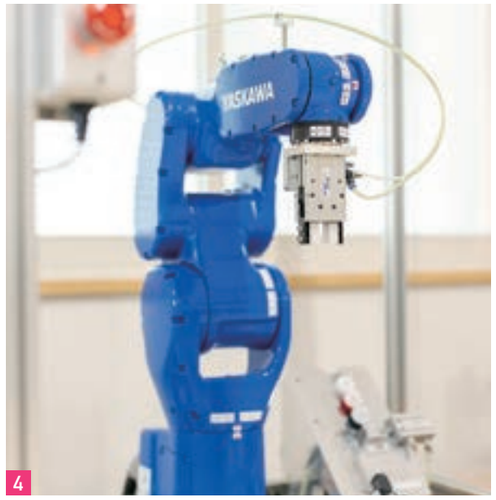
同社では現在、組立生産、精密部品加工、治具・機械の設計製作、制御盤の設計製作、機構部品販売、ロボット制御開発やロボットハンドの設計製作を行う「システムインテグレーター（SI）」業務の、6つの事業を展開している。この事業の幅広さが、同社の武器だ。また、この幅広い事業を支える技術も多岐に渡っているため、さまざまな種類・形状の新製品の試作にも対応。これも大きな強みとなっている。

以前は組立生産が売上げの半分以上を占めていたが、現在は組立生産とそれ以外の比率が逆転。そのきっかけとなったのが、平成23年3月の東日本大震災だった。当時の本社工場が津波の被害にあったため、倉庫があった現在地に本社と工場を移転して同年4月には事業を再開。その際、グループ補助金などを活用して最新鋭の工作機械を導入し、今後さらなる需要が見込める部品加工や設備機械の設計製作にシフトしていった。工作機械や検査機器などについては、その後も思い切って導入。本社工場も増築を重ねるなど、攻めの姿勢を貫く。

高速回転の切削機で加工された超硬金属部品

### 「短納期」で他社と差別化

中でも主力が、超硬金属の切削加工だ。刃物などに使われる超硬金属は削るのが難しく、納品までに時間がかかるのだが、同社では最新の切削機により通常2週間ほどかかるものを3～4日で仕上げる。




1 一昨年導入した細穴加工機は、0.08ミリの穴を開けることができるという最新機器 2 仕上げの研磨加工 3 加工後の製品は、出荷前に寸法を検査する 4 システムインテグレーター業務のため、昨年購入した社内開発用の産業ロボット

この「短納期」の生産体制は他の部品加工や機械製作でも同様で、他社との差別化につながっている。

## ロボット事業で地域に貢献を

ここ1、2年は、新しい分野にも挑戦している。その一つがシステムインテグレーター業務。さまざまな業界で需要が高まっている産業ロボットの、設計製作から制御、保守・メンテナンスまでを一貫して行うものだ。関東以西には精密機械分野を中心に取り扱っている企業は多いが、東北地方では現在ほとんどない。「早くこれを軌道に乗せ、地域に貢献したい」と社長は意欲を燃やす。

また昨年11月には、宮城県にある板金製造業の㈱ヒキチを完全子会社化した。これにより板金加工や溶接加工など、加工製品のバリエーションを増やすことに成功している。

## 取引先を増やしたい

創業以来、大手の取引先への依存傾向が強かった同社は、それにより経営が不安定になった時期もあった。そのため社長は「取引先を増やすことが重要」と、新規開拓を積極的に行っている。いわて産業振興センターの「製造業受発注取引(取引あっせん事業)」の利用もその一つ。商談会に参加したり、発注案件リストをチェックするなどして、受注につなげている。また、5年前には東京営業部も設置。ここを拠点に首都圏で開催する展示会に出展するなど、いっそうの販路拡大に励む。

「昨年子会社化した㈱ヒキチは、営業体制が当社と異なっており、いろいろな意味で刺激になっている。今後は相乗効果で売上げを増やしていきたい」と社長は語る。業界は、米中貿易摩擦や新型コロナウイルスで先の読めない状況が続くが、技術と営業力の両輪を稼働させ、さらなる発展を目指している。



# 技術ポイント

### 最新鋭の工作機械の導入で、変種変量・短納期に対応

組立生産に代わり主力事業になりつつある部品加工。これを支えているのが、東日本大震災後に導入した最新鋭の工作機械だ。6万回/分という高速回転の金属切削機、0.08ミリの穴を開けられる細穴加工機、ワイヤーカット加工機などで、変種変量・短納期の対応が可能になった。

### OJTを中心にしながら「多能工」を育成

工作機械はコンピュータによる操作のため、特殊技術を持つ職人よりも、各種機械を操作して正確に加工できる「多能工」の必要性が高まっている。同社ではOJTを中心にしながら、複数の作業ができる人材の育成に取り組んでいる。

## 代表メッセージ

代表取締役社長
**崎山 淳史**

>代表プロフィール
大船渡市出身。東京の大学を卒業後、大手電機メーカーに5年間勤務。
主にコンピュータ関連の営業を担当した。趣味は読書とウイスキーを飲むこと。

東日本大震災後に補助金などを利用して最新鋭の工作機械を導入し、労働集約型から資本集約型へ舵を切りました。その際、首都圏の取引先にもずいぶん助けていただきました。その恩に報いる意味でも、形状や数にかかわらず精度の高い製品を短期間で納品することをモットーに、事業に取り組んでいます。だからと言って、社員の生活を犠牲にするつもりはなく、むしろ一人ひとりのライフワークバランスに配慮するようにしています。

## 企業DATA

会社名 株式会社 理工電気
代表者 崎山 淳史
業　種 設計製作、各種部品加工
工　場 岩手県大船渡市赤崎町諏訪前37-4
電　話 0192-27-1681(代表)

沿　革 昭和51年／崎山節郎が創業
平成 7 年／自動組立機・検査機等の設計製作、精密部品加工等を開始
平成17年／崎山淳史が代表取締役社長に就任
平成23年／東日本大震災で旧本社工場が被災し、現在地に移転・再開
平成28年／東京都品川区に東京営業部を設置
令和 2 年／株式会社ヒキチを子会社化

従業員 105名(2021年5月現在)
資本金 3,000万円
ＵＲＬ https://rikohdenki.jp/

理工電気

# 各部事業紹介　事業者様の取り組みをサポートします。

## 産業支援部

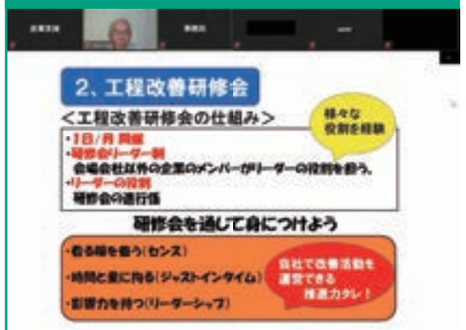
### プロフェッショナル人材戦略拠点 宮古ブランチの開設

センターでは、中小企業の即戦力となる人材の採用を支援する「プロフェッショナル人材戦略拠点」事業を実施していますが、4月20日に、沿岸地域での活動の拠点となる「宮古ブランチ」を、宮古市・県宮古地区合同庁舎に開設しました。

専任スタッフを配置し、洋野町～陸前高田市におよぶ沿岸地区での取組を強化してまいります。ご要望に応じて事業者のもとにお伺いしますので、お気軽にご連絡ください。

●お問い合わせ　プロフェッショナル人材拠点　宮古ブランチ
TEL：080-9563-2129（平日 8:30～17:15）

### 工程改善セミナー開催と研修会参加企業の募集について




県内企業における生産性向上を目的とした工程改善活動の普及に向け、5月21日に「工程改善啓蒙普及セミナー」をオンラインにより開催し、36名の方に参加いただきました。

生産性を上げるために必要な取り組みを工程改善の用語を踏まえて解説すると共に、当センター主催の工程改善研修会参加企業から取組事例を発表いただきました。

今年度も工程改善研修会を開催いたしますので、製造現場における改善活動に関心のある企業様は、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ　生産技術革新担当　TEL：019-631-3824

### 「いわてマルシェ2021」の開催について

5月27日から6日間、パルクアベニュー・カワトクにおいて、「いわてマルシェ2021」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、2年ぶり3回目の開催となった今年度は、新規メーカー13社を含め、県内49の事業者が自慢の逸品を出展しました。

会期中は人気の弁当が売り切れるなど、県内えりすぐりのグルメや工芸品、アパレルなどの買い物を楽しむ客で賑わいました。

●お問い合わせ　地域産業・企業支援担当　TEL：019-631-3823

### 令和3年度いわて希望応援ファンド採択事業決定

ファンドを活用した商品事例「花草履」(株)一歩)

センターでは、2日間にわたる審査委員会での審査を踏まえ、新商品開発や販路開拓等に取り組む19の事業者に助成金の交付を決定しました。

交付決定額は、合計で約3千万円となりました。引き続き県内の中小企業者による新事業活動を支援してまいります。

●お問い合わせ　地域産業・企業支援担当　TEL：019-631-3823

## ものづくり振興部

### 日本リハビリテーション医学会学術集会への出展

6月10日から4日間、国立京都国際会館において日本リハビリテーション医学会学術集会が開催され、当センターが事務局となっているいわて医療機器事業化研究会会員企業から、トレッドミル(㈱大武ルート工業)、嚥下リハビリ訓練デバイス(㈱ライフサポート研究所)、感染症防止グッズ(nomos)を出展いたしました。

今後も会員企業様の販路拡大につながるよう支援してまいります。

●お問い合わせ　取引支援・産業集積担当　TEL：019-631-3822

### 富士フイルムテクノプロダクツ㈱花巻サイト様と岩手県内IT企業とのオンライン商談会の開催

5月28日に、医療機器の製造を行う富士フイルムテクノプロダクツ㈱花巻サイト様と岩手県内IT企業との取引拡大及び交流促進を目的にオンライン商談会を開催しました。

あらかじめ提示いただいた発注ニーズに基づき募集を行い12社が商談を行いました。

今後も新規取引につながるよう支援してまいります。

●お問い合わせ　取引支援・産業集積担当　TEL：019-631-3822

### スロベニア共和国駐日大使 センター来所

国際リニアコライダー(ILC)の計画推進を応援しようとスロベニア共和国のアナ・ポラック・ペトリッチ駐日大使が来県、当センターに来所されました。当センターを含む関係機関の取組紹介や意見交換会を行ったほか、岩手ILC連携室オープンラボを見学されました。

当センターの取組について興味深くお聞きいただき、「スロベニア共和国は7月に欧州連合(EU)の議長国となることから、計画推進の助けになりたい」との心強いお言葉を頂戴しました。

●お問い合わせ　産学連携室　TEL：019-631-3825

### いわて「ひとと産業」デジタル化支援事業のご案内

現場のデジタル化を希望する県内企業を対象に、自社内における生産システム開発のトータルマネジメントが出来る「デジタル人材」の育成、省力化・無人化システムの開発導入に向けた取組支援をおこなってまいります。

7月下旬にはデジタル化の概要や取組み事例を紹介するセミナーと、専門家を招いての個別相談会の開催を予定しています。興味・関心のある事業者様からのお問い合わせをお待ちしています。

●お問い合わせ　産学連携室　TEL：019-631-3825

### 令和3年度加速器セミナーのご案内

県内企業の加速器関連産業参入を促進するため、岩手大学、岩手医科大学、岩手県立大学との共同により、ILC技術セミナーを5回開催する予定です。今年度は、「つくる加速器」「つかう加速器」をテーマに「加速器」をより身近に感じていただきたいと思います。ご参加をお待ちしています。

**開催日程(予定)**

【第1回】令和3年6月30日(水)　【第4回】令和3年12月
【第2回】令和3年8月　【第5回】令和4年2月
【第3回】令和3年10月

●お問い合わせ　産学連携室　TEL：019-631-3825

## アイリスオーヤマ㈱様との取引を目指す 県内食品加工企業募集のお知らせ

**趣旨**

アイリスオーヤマ㈱は「快適生活」をコンセプトに、家電事業、ホーム事業、ヘルスケア事業、食品事業を行っております。また、インターネット通販を手がける「アイリスプラザ」、首都圏を中心に17店舗を運営する「ユニディ」、宮城県を中心に展開する「ダイシン」など、製販含めたグループ企業29社から成り立っています。

今回は、ホームセンター及びインターネット販売向けに岩手ならではの食品加工品の発掘を目的としております。

| | |
|---|---|
| 募集対象商品 | 常温で保存可能な食品加工品<br>（例 缶詰、鮭フレーク、レトルト、乾麺など）<br>※贈答用を除く |
| 対象企業 | 岩手県内に製造拠点を有する企業 |
| 募集期間 | 令和3年8月31日（火）まで |
| 申込方法 | 下記事務局あて、ご連絡をお願いいたします。本事業の概要をご説明後、商品提案書の様式をお送りします。 |
| 募集後の流れ | 募集期間終了後、アイリスオーヤマ㈱様にて選定のうえ、アイリスオーヤマ㈱様から申込企業にご連絡します。 |
| 事務局 | ものづくり振興部　工藤<br>TEL：019-631-3822　FAX：019-631-3830<br>E-mail：m_kudoh@joho-iwate.or.jp |

## 「人材育成研修事業」のご案内

当センターでは、県内企業の成長を担う「中堅管理職等」の人材育成を支援する「研修事業」を開催いたします。
研修テーマは、以下の3つになりますので、是非、人材育成にお役立てください。

| 研修テーマ | 概要 | 開催日 |
|---|---|---|
| 若手人材の確保・育成 | 人事・採用担当者に求められるテーマを学ぶ | 調整中 |
| 管理会計 | 経営の舵取りに必要な会計を学ぶ | 調整中 |
| 中堅管理者養成 | 経営幹部・管理者に求められるテーマを学ぶ | 決定（10/14開始）受付完了 |

詳細は下記をご覧ください。ご参加を検討いただければ幸いに存じます。よろしくお願い申し上げます。

### ◆『若手人材の確保・育成講座』※1日の開催を予定

**～人事・採用担当者に求められるテーマを学ぶ～**

- **人材不足（採用）**
  人口減少社会を生き抜く改革の必要性。意識転換の必要性
- **若手社員を知る**
  ゆとり教育が生み出した「ゆとり・さとり世代」の特徴
- **離職**
  離職の「本音」と「建て前」、離職防止に向けた「傾聴力」を活用した取り組み

### ◆『管理会計講座』※1泊2日の開催を予定

**～経営の舵取りに必要な会計を学ぶ～**

- 管理会計は、会社が内部で管理を行うための会計であり、企業内部の意思決定や業績管理などに有用なツールです。
- 本講座では、決算書の仕組みから管理会計の基礎まで、講義と演習で学んでいただきます。
- 経理担当に限らず営業・購買など、あらゆる部門の方におすすめの講座です。

### ◆『中堅管理者・後継者養成講座』

おかげさまをもちまして、定員に達しました。
ありがとうございました。

※10/14-15, 11/9-10, 12/16-17開催（計6日間）

**～経営幹部・管理者に求められるテーマを学ぶ～**

- **わが社の経営戦略と計画策定**
  経営理念の実例研究、わが社の経営戦略と計画づくり
- **5つの経営分析から会社の強み・弱みを把握する**
  成長性・収益性・採算性・安全性・生産性
- **リーダー行動計画の作成と自己宣言**
  自己の行動変革アクションプランの作成

詳しい内容はホームページをご覧下さい。
申込書をダウンロードできます。

**http://www.joho-iwate.or.jp/kenshu**

- お問い合わせ
  産業支援部　産業人材育成担当
  TEL：019-631-3828
  E-mail：joho@joho-iwate.or.jp


産業情報 いわて
（公財）いわて産業振興センター広報誌

■発行／公益財団法人いわて産業振興センター
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2丁目4-26
（岩手県先端科学技術研究センター1F・2F）
［TEL］019-631-3820（代）　［E-mail］joho@joho-iwate.or.jp
［URL］http://www.joho-iwate.or.jp/
■発行日／2021年6月25日　■印刷／川口印刷工業株式会社



UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。